

無断転記・無断複製を禁ず

## 2025年度後期（第15回）12月実施 キャリアコンサルティング技能検定

### 1級 実技（論述）試験

実 施 日 ◆ 2025年12月14日（日）  
試 験 時 間 ◆ 14:30～15:50（80分）

#### ★注意事項★

1. 本試験の出題形式は、記述式5問です。  
事例を読み、解答用紙の設問ごとに記述してください。
2. 解答用紙の受検番号・氏名に誤りがないか、確認してください。
3. 試験中に机上に置ける物は、受検票、腕時計、筆記具(黒の鉛筆もしくはシャープペンシル・消しゴム)です。それ以外のもの(定規・メモ用紙・筆記用具入れ等)は机上に置かず、カバンなどの中にしまってください。
4. 受検票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験室内では、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等すべての通信機器および電子機器、時計のアラーム等、音の出る機器は使用禁止です。必ず電源を切り、カバンなどの中にしまってください。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は、失格となります。

#### 【退出時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、拳手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したまま静粛にお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。
- 2026年3月18日（予定）に、受検者全員に合否通知書を送付いたします。  
合格者は当協議会のウェブサイトに受検番号を掲載してお知らせします。  
(<https://www.career-kentei.org/result/>)

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目11番7号 住友東新橋ビル5号館9階 TEL 03-5402-4688

次の文章は、事例相談者（B）が相談者（A）とのキャリアコンサルティングについて事例指導をうけるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問い合わせに答えなさい。解答は指定された解答用紙に記述すること。

試験問題で使用される用語について

\***事例相談者**とは、キャリアコンサルタントのことを指し、自分が実施したキャリアコンサルティング（事例）に関する、面談過程、事例の見立てや対応方針、環境への働きかけ等について相談をする人のことです。

\***相談者**とは、自らの進路相談、職業相談、人事労務に関する相談など、キャリアに関する相談に来た人のことで、事例に登場する人を指します。

#### 【相談者（A）】

男性（53歳）、大学（工学部）卒業後、新卒で自動車等のモビリティ関連の部品メーカーに入社。技術部門を経て現在は品質管理部の部長として3年目。

#### 【相談者（A）の職場や家族等の状況】

妻（43歳）、長男（5歳）の3人家族。県外にAの母親（75歳）が一人暮らし。会社は60歳定年、65歳までは再雇用として勤務可能。社内のキャリア研修を受講後、今後のキャリアを考えたいと思い、地域の就職相談窓口に相談に来た。

#### 【事例相談者（B）】

女性（40歳）、大学卒業後、人材サービス会社に就職し30歳で退職。3年前にキャリアコンサルタント資格を取得。現在相談歴2年。

#### 【事例相談者（B）が相談したいこと】

Aの相談は「できれば70歳までは頑張りたい。長く働いていくにはどうしたら良いか」という内容で、子どもの年齢や自宅のローンもまだ残っていることから、まずはマネープランの作成を提案した。しかし次回の予約はキャンセルとなった。もしかしたらAのニーズと合っていなかったのかも知れず、どのような支援をしたらよかつたのか、指導を受けたい。

#### 【相談事例】

Aは入社当時、技術者としてやりがいをもって働いてきた。現在も部品の品質を維持するための重要な部署を担当しており、順調なキャリアを歩んでいる。

先日実施された50～55歳対象の社内キャリア研修で、60歳以降のキャリアについて話し合ったところ、参加者の多くが65歳でのリタイアを希望していることが分かり、驚いた。一方で、再雇用制度が3年後には70歳まで延長されるかもしれないという話も耳にした。A自身は、子どもを持つのが遅かったこともあり、70歳まで可能な限り長く働きたいと考えているが、まだ50代であり、先のことはあまり考えても仕方がないという気持ちもあるようだ。

反面、昨今の世界情勢も影響し、海外と取引しているAの組織も厳しい経営が強いられるかもしれないと、心配を口にした。再雇用以外の選択肢としては、早期退職を活用し、組織が契約している再就職支援会社の力を借りて、早めに社外転身をする方法もあるとのこと。Aは「できれば70歳までは頑張りたい。長く働いていくにはどうしたら良いか」と気になっていたので、人事の担当者に話を聞いて再就職支援会社の説明会に出席してみること、また転職した方が長く働くのではないか、と提案した。それに対しA

は「この歳で新しい環境に入り、まして限定された自分のスキルが通用するとも思えず、自信がない」と弱腰だった。

Aは子どもの話になるととても饒舌になり、「子どもには元気に働いている父親の姿を見せたい。やっぱり大学には行ってほしいし、そのためにも出来るだけ長く働いていきたい」とのことだった。気がかりは、遠方にいる一人暮らしの母親で、今はまだ何とか元気だが、いずれは一人息子の自分が世話をしなくてはいけないと思っている。

「実家の近くは果樹園が多く、母は収穫時にはその手伝いをしています。果物農家も高齢化が進み、薬剤散布など管理が大変になっているとも聞いているし、今のうちにドローンの資格でも取って、いっそのこと実家に戻り農家をはじめてもいいかなと…」そんなことも頭をよぎることだった。しかし、いろいろと考えるもの「どれも夢物語のようで、何から始めればよいかわからない」と繰り返した。

Aの経済的なことが気になり尋ねたところ「ある程度の貯蓄はあるものの、自宅のローンもまだ残っているので心配はある」とのことだったので、「まずはマネープランを作成しませんか」と提案した。「収支や将来のライフイベントを一覧にすることで、いつまで働けばよいか具体的になると思います」と勧めた。Aは少し戸惑った表情はしたものの了承してくれたので、次回の約束をしてその日の面談は終了した。しかし予約はキャンセルとなり、その後Aからの連絡はない。

#### 【事例相談者Bの所感】

Aが長期的なキャリアプランを考えていることを理解し、まだ幼い子どもや家族への気持ちも受けとめた。そしてAが考えている選択肢を話してもらったことで、ある程度の関係構築は出来たのではないかと思った。「何から始めればよいか」と繰り返されるAの求めに応じ、経済面のことをまずは優先的に考えたほうがよいと判断し、マネープランを作成することを提案したが、戸惑った様子だったのが気になっている。また、定年が絡む相談の経験があまりないことから、対応に自信が持てなかった。

### 【問題】

- 問1 相談者Aが訴えた問題は何か、記述せよ。 (10点)
- 問2 あなたが考える見立てに基づき、相談者A自身が問題を解決するために取り組むべきことは何か、記述せよ。 (20点)
- 問3 相談者A自身が自分の問題を解決するために活用可能な社会的ネットワークは何か。相談者Aの置かれた環境への働きかけについて関係機関や関係者との連携を考慮し、記述せよ。 (20点)
- 問4 事例相談者Bの相談者Aへの対応について問題だと思うことは何か。事例に基づいて記述せよ。 (25点)
- 問5 問4で挙げた事例相談者Bの問題だと思うことの中から優先するもの一つを取り上げ、事例指導（またはスーパービジョン）における具体的な指導内容を記述せよ。 (25点)

